

実施報告書

平成30年 3月11日

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スコア内
特定非営利活動法人かながわ環境カウンセラー協議会
理事長 河野 健三

環境・エネルギー学校派遣事業について、次のとおり実施したので報告します。

委託業務名	環境・エネルギー学校派遣事業		
実施日	平成30年 2月23日（金）		
実施学校名	捜真学院・捜真小学校（横浜市神奈川区中丸8）		
授業テーマ	生物多様性～生物をまねた新商品を探せ～		
対象学年	6年生	受講児童（生徒）数	2クラス 58名
授業実施者人数・氏名	① 指導者1名：池田浩 ② 補助指導者4名：岡本正義、大竹順之、高田直子、岩村順雄		
実施した授業の概要			
授業時間：10:50～12:25<1クラス目>、13:15～14:45 <2クラス目> ・ 理科室を使って、4班構成（1班は7、8人）で実施			
1. アイスブレイク「生き物探しクイズ」			
・ “身の回りにはどのような生き物がいて、どこにいるかな？”という問いかけ。 ・ 写真を見て、どこに生き物がいるか探すクイズを実施。 （→ 5枚の写真全てで、子供たちが生き物を発見）			
2. ネイチャーゲーム「私はだれでしょう？」			
生き物カード※を背中につけて、自分のカードが何かをあてる。 （※成体と幼体：ヘビ、カエル、カマキリ、トンボ、バッタ、セミ、カブトムシ）			
・ ルールを説明した後に講師側でデモンストレーションを実施。 ・ 2人一組になって相手を替えながら、正解するまで質問（すんでいる場所、食べ物、体の色、足の数等）。 → 予想していたより早く、約15分で全員が自分のカードを正解。 → 幼体の生態（食べ物等）が難しかった様子。 → すんでいる場所、食べ物を例示して生物多様性を理解させた			

3. カード合わせ「生き物の形、機能を使った商品探し」

- ・ 生き物のカード10枚と商品のカード10枚の組み合わせを班ごとに考える。
＜生き物＞ハスの葉、オナモミ、モルフォチョウ、カワセミ、フクロウ、カタツムリ、クモ、サメ、蚊、ヤモリ
＜商品＞ヨーグルトのふた、面テープ、構造色ネクタイ、新幹線、パンタグラフ、汚れないタイル、強くて軽い布、水着、痛くない注射針、接着テープ
→ 身近に生き物をまねた商品がたくさんあることに気がついた

4. 観察と体験

テーマ1：「オナモミとマジックテープ」

- ・ くっつき虫としてオナモミとセンダングサのくっつく仕組みをルーペで観察
- ・ 面テープの構造をルーペで観察

テーマ2：「ハスの葉とヨーグルトのふた」

- ・ ハスの葉の上にスポイトで水をたらし、水滴がどうなるか見た。
- ・ ヨーグルトのふた（水をはじくものとはじかないもの）にも水滴をたらしてみた。
- ・ 顕微鏡でそれぞれの表面を観察。

テーマ3：「フクロウ・カワセミと新幹線」

- ・ カワセミ（はく製）のクチバシと新幹線（模型）の先頭車両の形を比べた。
- ・ フクロウの羽根とカラスの羽根を触る体験。

テーマ4：「モルフォチョウとネクタイ」

- ・ モルフォチョウの翅、クジャクの羽根、タマムシを実際に触ってみて、ルーペや顕微鏡で観察
- ・ 構造色ネクタイをルーペで観察

5. まとめと振り返り

- ・ テーマ1～テーマ4の観察と体験の内容を画像で振り返り。
- ・ カワセミが水に飛び込む様子を動画で見た。
- ・ フクロウが音を立てずに飛ぶ様子を動画で見た（ハトやタカとの比較映像）。
→ 視覚的、聴覚的にカワセミやフクロウのすごい所を体感。
- ・ 「生き物を大切にするには、生き物が住んでいる場所も大切にしよう」ということを伝え、里山の風景と生き物の写真を見ながら授業終了。

以上